

3月15日全国いっせい行動にご理解・ご支援を

職員の皆様へ

私たち全国福祉保育労働組合（福祉保育労）に加盟する組合員は、安倍政権が推し進める戦争するための憲法改正をくい止め、国民が切実に願う福祉拡充のための福祉職員の大幅な増員と確保・定着のための賃金引き上げ・労働条件改善を政府・自治体に迫るストライキ行動も含む全国いっせい行動を3月15日に、全国の仲間とともに取り組みます。

○戦争は国民のいのちと暮らし奪い、福祉を壊します。

安倍政権は戦争するために憲法9条の改正を柱とした憲法改正に乗り出しています。早ければ年内にでも国会で憲法改正の発議をめざしています。安倍首相は憲法9条に自衛隊を書き込むことについて、自衛隊の任務はこれまでと何も変わらないと説明しています。しかし、集团的自衛権の行使を含んだ安全保障関連法で海外での武力行使が可能になった今、自衛隊を憲法に書き込むことによって武力行使が合憲化され、制限なしにいつでも、どこでも同盟国と一緒に軍事行動ができるようになります。私たちの仕事は、何よりもいのちと暮らしが守られ、一人ひとりの尊厳が大切にされる社会を実現することを目的にしています。「平和のために」武力を行使し他の者の命を奪うことは、本来守られるべき命を戦争に捧げることと裏表の関係であり、私たちの福祉労働とは相いれません。平和であってこそ命が守られ、尊厳ある暮らしが保障されます。

○憲法改悪をくい止め・働き続けられる福祉職場を実現するために

深刻な福祉現場の人材難の状況をうけて、政府は今年度「保育士6千円・福祉・介護職員1万円」の改善を行いました。しかし月額平均10万円といわれる他産業との格差を埋めるベースアップにはつながっていません。その背景には、そもそも低い保育の公定価格や介護報酬基本部分の引き下げ等、低い運営費や事業所の努力で国基準以上の職員を配置して運営していることにあります。処遇改善に結びつけるためには、運営費（保育公定価格・介護報酬等）の大幅な増額と、実態に見合った職員配置基準の引き上げが必要です。

私たちは、安倍政権による戦争するための憲法改正をくい止め、憲法を活かした平和で、国民の要求に応えられる保育、介護、福祉の拡充、その為の職員の大幅な増員の実現めざして3月15日に全国の仲間と共に国・自治体に改善を求めてたちあがります。是非、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

全国福祉保育労働組合大阪地方本部
執行委員長 多久和 令一
(公印略)

同 分会
執行委員長